



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 東テック株式会社
コード番号 9960 URL <https://www.totech.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 克己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理本部長 (氏名) 金井 俊和

TEL 03-6632-7000

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	87,666	14.2	4,398	24.5	4,911	24.2	3,161	24.5
2022年3月期第3四半期	76,766	2.0	3,533	6.8	3,953	9.8	2,539	9.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,507百万円 (10.4%) 2022年3月期第3四半期 3,177百万円 (37.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	231.08	
2022年3月期第3四半期	185.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	90,375	42,892	47.5	3,133.69
2022年3月期	84,693	41,669	49.2	3,049.57

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,892百万円 2022年3月期 41,669百万円

(注) 当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		122.00	139.00
2023年3月期		49.00			
2023年3月期(予想)				98.00	147.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	10.8	7,000	11.2	7,500	5.3	5,000	5.8	365.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,988,000 株	2022年3月期	13,988,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	300,466 株	2022年3月期	323,986 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,680,506 株	2022年3月期3Q	13,661,597 株

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期3Q 73,800株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期3Q 61,620株)を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2023年2月3日(金)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され社会経済活動の正常化が進みましたが、一方で、急激な外国為替相場の変動、ウクライナ情勢に端を発する資源価格の高騰、中国での期初のロックダウンとその後の感染急拡大などによるサプライチェーンの混乱により、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く建設業界におきましては、アフターコロナを見据え公共投資・民間投資とも堅調で受注環境は良好であるものの、建設資材の価格高騰や納期遅延等の影響が長引き、供給面で引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は、良好な受注環境を背景に特に工事セグメントにて順調に売上が伸長し、87,666百万円(前年同期比14.2%増)となりました。利益面につきましては、売上高の増加に比例し順調に売上総利益が計上されたことにより営業利益は4,398百万円(前年同期比24.5%増)となりました。またこれに伴い、経常利益は4,911百万円(前年同期比24.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,161百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

なお、当社グループは売上高が第4四半期連結会計期間に集中する傾向があり、業績には季節的変動があります。

<商品販売事業>

商品販売事業におきましては、空調機器、制御機器、設備機器を中心とした機器販売と、販売した機器のスポットメンテナンスや保守を行っております。売上高は57,520百万円(前年同期比11.5%増)、売上総利益は11,621百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

<工事事業>

工事事業におきましては、計装工事、管工事ほか各種工事の設計・施工と、施工工事に対するスポットメンテナンスや保守を行っております。売上高は31,820百万円(前年同期比21.4%増)、売上総利益は9,467百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,682百万円増加し90,375百万円となりました。これは、無形固定資産が559百万円減少した一方で、営業債権や棚卸資産の純増等による流動資産の増加3,408百万円及び建設仮勘定の増加等による有形固定資産の増加3,099百万円があったことが主な要因です。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,459百万円増加し47,483百万円となりました。これは賞与引当金が1,691百万円減少した一方で、有利子負債の増加4,525百万円及びその他流動負債の増加1,445百万円があったことが主な要因です。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,223百万円増加し42,892百万円となりました。これは、保有有価証券の時価下落によりその他有価証券評価差額金が382百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上から配当金の支払等を差し引いた利益剰余金の純増額818百万円及び為替相場の変動により為替換算調整勘定759百万円の増加が主な要因です。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.7%下落しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,836	7,097
受取手形、売掛金及び契約資産	23,863	25,970
電子記録債権	7,897	7,666
棚卸資産	3,733	6,610
未収入金	2,189	2,032
その他	771	317
貸倒引当金	△59	△56
流動資産合計	46,231	49,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,878	12,252
土地	8,721	8,806
リース資産	1,076	1,146
建設仮勘定	208	2,116
その他	801	914
減価償却累計額	△4,157	△4,607
有形固定資産合計	17,528	20,628
無形固定資産		
のれん	1,992	1,802
ソフトウェア	1,930	1,593
ソフトウェア仮勘定	93	67
その他	967	959
無形固定資産合計	4,983	4,423
投資その他の資産		
投資有価証券	11,761	11,438
繰延税金資産	344	171
退職給付に係る資産	421	486
その他	3,500	3,666
貸倒引当金	△78	△79
投資その他の資産合計	15,949	15,683
固定資産合計	38,462	40,736
資産合計	84,693	90,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,607	12,753
電子記録債務	6,979	7,860
短期借入金	5,490	11,631
1年内償還予定の社債	32	-
未払法人税等	1,281	149
賞与引当金	2,646	954
役員賞与引当金	37	-
その他	4,232	5,678
流動負債合計	33,307	39,027
固定負債		
長期借入金	6,763	5,179
繰延税金負債	1,044	1,383
役員退職慰労引当金	966	157
退職給付に係る負債	455	466
その他	486	1,267
固定負債合計	9,716	8,455
負債合計	43,023	47,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857	1,857
資本剰余金	2,081	2,267
利益剰余金	32,946	33,764
自己株式	△134	△261
株主資本合計	36,750	37,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,924	4,542
為替換算調整勘定	△240	518
退職給付に係る調整累計額	234	204
その他の包括利益累計額合計	4,919	5,265
純資産合計	41,669	42,892
負債純資産合計	84,693	90,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	76,766	87,666
売上原価	58,141	66,584
売上総利益	18,624	21,081
販売費及び一般管理費	15,091	16,682
営業利益	3,533	4,398
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	193	213
仕入割引	263	296
受取補償金	27	-
雑収入	69	203
営業外収益合計	557	720
営業外費用		
支払利息	58	56
貸倒引当金繰入額	-	1
支払保証料	54	53
雑損失	24	97
営業外費用合計	137	208
経常利益	3,953	4,911
特別利益		
固定資産売却益	-	15
特別利益合計	-	15
税金等調整前四半期純利益	3,953	4,926
法人税、住民税及び事業税	685	1,078
法人税等調整額	728	686
法人税等合計	1,414	1,765
四半期純利益	2,539	3,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,539	3,161

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,539	3,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	667	△382
為替換算調整勘定	-	759
退職給付に係る調整額	△29	△30
その他の包括利益合計	637	345
四半期包括利益	3,177	3,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,177	3,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。